平成 22 年 4月 1 日
第 35 号

やかたばら環境通信

◇◇ 発行 ◇◇
八方原の環境を守る会
代表 原田憲一郎
電話 972・7602

全員参加で運営　農事組合法人八方原が発足



総会の決議後に、新役員と運営委員が紹介された。大きな期待のかかる門出。

八方原地区の営農組織が生まれ変わりました。3月13日、農事組合法人八方原の設立総会が開催され、新たな一歩を踏み出しました。

農業を取り巻く環境は、依然として厳しいものがあります。従事者の高齢化、次世代の担い手不足など、個人では解決できない問題も山積していました。山口県の基幹的な農業従事者の平均年齢は05年度で69歳と言われています。八方原地区でも同じような結果が得られるでしょう。県内でいち早く圃場整備に取り組み、地域内の先進的な優良農地として長年農業経営にを続けてきた地区としては、新たな打開策が迫られていました。

幸い当地区には異世代同居という状況も少なくないので、次世代の担い手候補もあります。しかし、農地所有者に担い手候補が必ずあるというわけではないので、自作を諦め、誰かに耕作してもらうことも日常的に行われてきました。今後は農地を一旦法人に貸出し、組合員の耕作者が組織的、計画的に作業を進めるという形になります。所有農地が少ない人でも農業に従事できる時間が確保できれば、これまで以上に活躍できることになります。

そうした問題を時間をかけて話し合ってきた結果、今回の農事組合法人設立となりました。行政もこうした法人化については非常に積極的に推進してきました。ある意味では「農地・水・環境保全向上対策」と法人化は補完しあう施策です。

設立総会に出席した行政の関係者の祝辞も熱を帯びていました。JA山口中央組合長のお話は、世界的な食料事情にまで及ぶ遠大なものでした。それもこの法人化の重要性をよく考えておられる証拠でしょう。

新しく役員になった方々は、今も中心的に活躍しておられますが、代表の挨拶では「全員参加で頑張ろう」と決意を述べました。これからが新たな歴史づくりの始まりです。

花壇の手入れにひと汗

冬の間はじっとしていた雑草も3月になると、一気に活動を始めます。当会が管理している花壇も雑草に花が埋もれそうになってしまいました。

3月27日の夕刻、役員が草取り作業を行いました。これからのシーズンは雑草との戦いです。きれいな景観を守るにはそれに応じた努力が必要ですね。ちょっと油断すると雑草はすぐに芽を出し葉をのばしてきます。日々の努力が問われます。



もっパラおごおりで八方原区民大奮闘



もっパラおごおり号はふれあいセンターの会場の真ん中に

小郡地域づくりとして行われる「もっパラおごおり」が3月20日に行われました。

八方原地区からは生改連のうどんが大人気。早々に完売したようです。またJA山口中央小郡支所では女性部と青壮連がそれぞれ出展。当地区からのメンバーも大活躍でした。

またパレードには9つの団体が出場、それぞれの自慢の演技を披露しながら新山口駅から小郡ふれあいセンターまでを練り歩きました。

今回は地域内の吹奏楽部5団体がステージに上がり、勇壮で華麗な演奏を披露してくれました。

また新たに創作劇を上演しました。これは岩屋地区の「ふるさと青年座」のメンバーにもっパラおごおり実行委員会が加わったものですが、脚本、演出を若い井藤優治君に任せて上演にこぎ着けました。劇の背景になる絵は、山口芸術短期大学の先生と生徒に描いてもらいました。

ストーリーは、本来もっと南を通るはずだった山陽鉄道の路線を町の有志が、大地主古林家の大旦那の協力を得て鉄道会社を動かし、今の位置まで路線を変更してもらったという話しでした。

区からのお知らせ

平素は区運営にご協力いただきまして誠にありがとうございます。22年度がスタートします。当初の予定をお知らせします。

4月10日（土）　地区総集会
午後7時より　八方原公民館

4月25日（日）　地区敬老会
午前11時より　八方原公民館

新役員が決定

会計役　片山静市さん
体育部長　伊藤敏己さん
体育副部長　谷　由紀子さん
福祉委員　黒瀬邦子さん

なお募金委員については募金の方法も含めて区で検討中です。総会では年の初めに一度に年間の募金を徴収し、区で必要に応じて拠出する案も出ました。

水道管工事が終了

2月3日から始まった水道管敷設工事が無事に終わりました。これにより当地区への上水道の供給は2系統となり、異常事態の対応が強化されました。

期間中は通行止めなど不都合もありましたが、大きな問題はありませんでした。工事期間中は路線バスも地域内を迂回していましたが27日より、本来の路線に戻りました。できるだけ利用するようにしましょう。

桜の季節に積雪

暖冬だと言われていましたが、3月になっても冬はなかなか去ろうとしません。3月9日から断続的に降り出した雪は10日には重く湿った雪をどっさり。周辺道路も大混乱、高速道路や鉄道にも大きな影響が出ました。

この重い雪は各地に被害を出しています。当地区でも農業用ハウスにいろいろな影響が出てしまいました。

桜の花が咲きだしたのが例年より早いと喜んでいたら、27日の朝は一面の霜。山口旧市街や周南地区では雪が降ったとか。とても厳しい天候になりました。早く穏やかな春になると良いのですが。



見る見るうちに山は白くなった（3月9日）